



# Blu-ray Disc Updates

ブルーレイ・ディスク・アソシエーション ニュースレター Vol.2

報道関係各位

2008年5月30日

## 国内 DVD レコーダー市場における BD 対応レコーダーの 販売台数シェアが 3 割を超える

Blu-ray Disc (BD)対応レコーダーの国内 DVD レコーダー市場における販売台数のシェアが 3 割を超えたことが市場調査会社 GfK Japan の調べで明らかになりました。

BD レコーダーは DVD レコーダー市場におけるシェアを順調に伸ばしており、本年 4 月には 29.3%となった後、4 月 28 日から 5 月 4 日までの連休商戦において 32.1%と初めて 3 割を超えました。これは BD

レンタルの開始やセル BD の本格展開によって消費者にとって BD ソフトがより身近な存在になりつつあることや、今年夏の大型スポーツイベントなどを控えて映像を高画質で保存・再生したいという消費者のニーズが高まっていることなどが理由と考えられます。

BDA は、本件に関して次のコメントを出しております。

「BD 対応レコーダーの台数シェアが順調に伸び、ついに 3 割を超えたことについて大変嬉しく思います。金額ベースでは更に高いシェアになるものと考えます。今後は BD レコーダーでのネットワーク機能の活用など、映像の録画/再生だけではない BD の特性を消費者の皆様にお伝えすることで、さらなる普及を目指したいと考えています。」

### DVDレコーダー DVD規格別数量構成比

Source : GfK Japan



## Blu-ray レンタル研究会、BD ソフトのテストレンタルを完了 調査結果を発表へ

レンタルソフト事業者 17 社、映像ソフトメーカー 3 社、機器メーカー 2 社が共同で BD ソフトのレンタルに関する研究を行う「Blu-ray レンタル研究会」は、2007 年 12 月より本年 2 月末までの約 3 ヶ月間にわたって実施した BD のテストレンタルの結果をまとめたことを発表しました。

今回のテストレンタルは、BD レンタルの本格導入に備えて各種データの収集や運用における課題を抽出することを目的に実施されました。期間中、1 枚あたりの平均貸出件数は 4.4 回(2007 年 10 月以降に発表された新作ソフトでは 8.1 回、それ以前に発表されたソフトでは 3.1 回)となり、レンタル BD への需要が既に存在していることが確認されました。また既存の DVD レンタルと同様、新作ソフトの貸出の需要が旧作よりも高くなる傾向が見られたほか、貸出件数における地域間の格差は特に見られませんでした。

今回のテストレンタルを実施したレンタル店からは「利用者からの反応が予想以上にあった」「インターネットで探して来店した利用者もいた」「特に新作ソフトの貸出が好調だった」などのコメントがありました。また店頭で利用者を対象に行ったアンケートでは、「今後 Blu-ray に期待すること」という質問に対して 32%の利用者が「レンタル店での取扱い」と答えただけ、また「レンタル BD の対象となるタイトルを増やして欲しい」などの感想が寄せられました。

## ソニー・ピクチャーズ エンターテインメント、国内発の BD-Live 対応ソフト 「メン・イン・ブラック」を発売

ソニー・ピクチャーズ エンターテインメントは、日本で初めて BD-Live 機能に対応したタイトルとして BD 版「メン・イン・ブラック」を本年 6 月 25 日にリリースすることを発表しました。

BD-Live はインターネットを経由しコンテンツやアプリケーション、オンラインゲームなどのダウンロードを行うための規格です。この機能を活用することで、例えばディスクに収録されていない予告編映像や言語(字幕・音声)を追加でダウンロードし視聴することが可能になります。

BD 版「メン・イン・ブラック」における BD-Live を利用した機能としては「銀河探求:MIB トリビアクイズ」があり、ここでは「メン・イン・ブラック」に関する 500 問のトリビアクイズを収録しています。また対戦型のゲームとしてもプレイすることができることから自分でゲームを主催したり、他のユーザーの主催するゲームに参加したり世界中の人とインタラクティブにゲームを楽しむことができます。

今回の「メン・イン・ブラック」の発売について、ソニー・ピクチャーズ エンターテインメント マーケティング部ディレクター 笠井高志氏は次のように語っています。

「このたび日本で初めて BD-Live 機能を搭載した BD タイトル『メン・イン・ブラック』を発売できることを大変嬉しく思います。BD-Live 機能を活用することにより、今後は視聴者の方々は単に映像を見るだけではなく、映画の世界観をよりインタラクティブに体感することが可能となります。当社では今後とも積極的に BD-Live 対応タイトルを発表していく所存です。」



\*BD-Liveの再生にはBlu-ray Disc Profile2.0に対応したプレーヤーが必要となります。日本国内では当ニュースレター発行日現在においてPlay Station 3 (Version 2.20以上)のみが対応しています。

#### **ブルーレイ・ディスク・アソシエーション (BDA)について**

ブルーレイ・ディスク・アソシエーションは、ハイビジョン映画、ゲームソフト、写真、その他のデジタルコンテンツを保存可能な次世代光ディスクであるブルーレイ・ディスクの規格プロモーションやビジネス促進を目的に活動しており、アップル、デル、ヒューレット・パッカード、日立製作所、LG 電子、三菱電機、松下電器産業、パイオニア、フィリップス、サムソン電子、シャープ、ソニー、サン・マイクロシステムズ、TDK、トムソン、20世紀フォックス、ウォルト・ディズニー、ワーナー・ブラザーズを始め、180社以上が加盟しています。

本ニュースレターは、ブルーレイ・ディスク・アソシエーション (BDA) 広報事務局より報道関係の皆様へブルーレイ・ディスク関連の情報をお知らせすることを目的にご送付しております。日々の報道活動におけるご参考として活用していただければ幸いです。

#### **当資料に関する報道関係の方のお問い合わせ先:**

ブルーレイ・ディスク・アソシエーション (BDA) 広報事務局  
〒150-8343 東京都渋谷区渋谷 2-12-19 東建インターナショナルビル 9 階  
株式会社プラップ ジャパン 内 担当: 佐伯、藤沢  
TEL: 03-3486-6839 FAX: 03-3486-0584 E-mail: [BDA@prap.co.jp](mailto:BDA@prap.co.jp)